

報道関係各位

2022年度後期 小中学校向け「ロボットプログラミング入門」無償出張授業 開催希望校募集開始

三菱総研DCS株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：松下 岳彦、以下：DCS）は、社会貢献活動の一環として、小中学校を対象にした、ロボットエンジニアの職業紹介、コミュニケーションロボット・プログラミング体験等を内容とした無償での出張授業を実施しています。本日より、2022年度後期の開催希望校の募集を開始します。地方の小規模校の皆さんからのご応募もお待ちしております。

1. 授業内容

本活動は、小中学校におけるキャリア教育やプログラミング教育への貢献を目的としています。児童生徒の皆さんの知的好奇心を引き出し、ロボットやプログラミングとの良き出会いとなるように、「初心者でもわかりやすい」「参加型」の授業構成としています。

<授業時間> 1コマ（45分~50分）

<授業構成> ※当日の構成は、多少異なる可能性があります。

■イントロ

1. 自己紹介

■キャリア教育

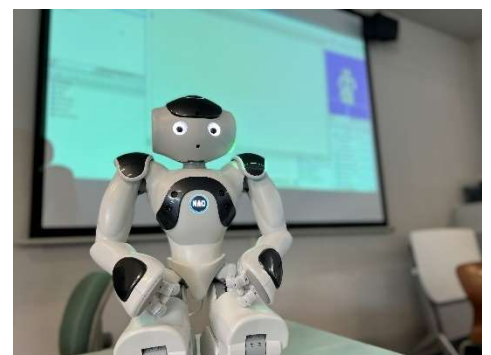
2. ロボットプログラマーのお仕事紹介
 - ーいつも、こんな会話をしています（対象:小学校4年生）
 - ーソフトウェアを作る4つのステップ（対象:小学校高学年、中学校）
3. ロボットで私たちがやろうとしていること（対象:中学校）
4. 実証実験ってどんなことするの？（対象：中学校）

■プログラミング体験 注)

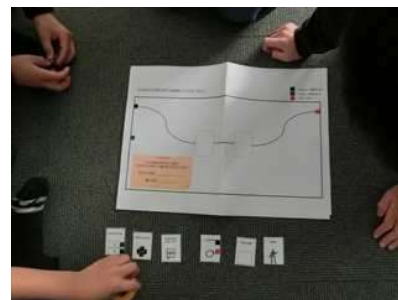
5. ロボットってどうやって動かすの？
6. ロボットに好きな言葉をしゃべらせてみよう
7. おしゃべりの後にジェスチャーをつけてみよう
8. おしゃべりを繰り返してみよう

■クロージング

9. ロボットといっしょに歩いてみよう
10. 質疑応答



注) プログラミング体験は、当社エンジニアが、プログラムの開発画面（フローチャート）をモニターで映しながら、児童生徒の皆さんのご意見も取り入れ、即興でアプリケーションを作成し、ロボットの動きや言葉への反映を確認していきます。児童生徒の皆さんは、手元のプリントとカードでフローを作成しますが、実際のプログラミングは行いませんので、ご了承ください。



2. 募集要項

対象学年	小学校4年生～中学校3年生
対象人数	1回あたり35名程度まで（人数の下限なし、複式学級での実施も可能）
募集期間	2022年9月8日（木）～2022年10月31日（月）
授業実施期間	2022年10月3日（月）～2023年3月31日（金）
実施費用	無償（写真撮影、アンケートへのご協力をお願いします）
ご準備いただくもの	HDMI接続のモニターもしくはプロジェクター

※ロボットとふれ合うため、1クラス程度の人数を上限の目安としています。対象人数が多数の場合、1日で複数回実施等、柔軟に対応しますので、ご相談ください。

※応募多数の場合、本活動の趣旨を踏まえ、よりロボットと接する機会が少ないと推察される学校（地方校、小規模校等）を優先することがございますので、ご了承ください。

3. 応募方法

メールにてご応募ください。

【送付先アドレス：robodev@dcs.co.jp】

※宛先：三菱総研DCS株式会社 デジタル企画推進部 ロボット特別授業担当

件名：ロボット PGM 入門出張授業希望（学校名 例：〇〇小中学校）

本文：・学校名

・住所

・メールアドレス

・電話番号

・窓口ご担当者様氏名

・役職名

・対象学年、人数（検討中の場合は、その旨お知らせください。）

・授業実施希望月または期間（検討中の場合は、その旨お知らせください。）

・その他ご要望、ご連絡事項など

■三菱総研DCSについて

DCSは、1970年の創立以来、銀行・クレジットカード等金融関連業務で豊富な実績を有するIT企業です。2015年にはインターネットを通して学校と受験生を繋ぐ入試関連サービス「miraicompass」を構築、学校向けのイベント予約、資料請求、インターネット出願などのサービスを提供しています。全国で約1,200校の小学校・中学校・高等学校と延べ180万人の受験生・保護者の方にご利用いただいています。

また、2016年よりコミュニケーションロボットへの取り組みを開始、複数の企業への受付ロボットの設置、

2018年からは高齢者や子ども向けのニーズを発掘し、新たなサービス提供に向けた活動を開始しています。2019年度には、国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)の「ロボット介護機器開発・標準化事業(開発補助事業)」の採択を受け、介護分野向けの開発を本格化するとともに、教育現場における活用支援についても推進しています。

*当プロジェクトは、ソフトバンクロボティクスの「NAO」を活用し、当社が独自に実施しています。

■本リリースに関するお問い合わせ先

三菱総研DCS株式会社

〒140-8506 東京都品川区東品川四丁目12番2号

・当リリースに関して 広報部

TEL: 03-3458-8214 E-mail: kouhou@dcs.co.jp

・ロボティクスの取り組みについて

1. 神奈川県横浜市の公立中学校 個別支援学級にて学習支援を目的としたコミュニケーションロボットを設置

URL : <https://www.dcs.co.jp/news/2020/201005.html>

2. 横浜市「障害者のスポーツや文化活動の充実、施設の利便性向上」の実証プロジェクトに採択されました

URL : <https://www.dcs.co.jp/news/2022/220601.html>

別紙：2022 年度前期開催実績

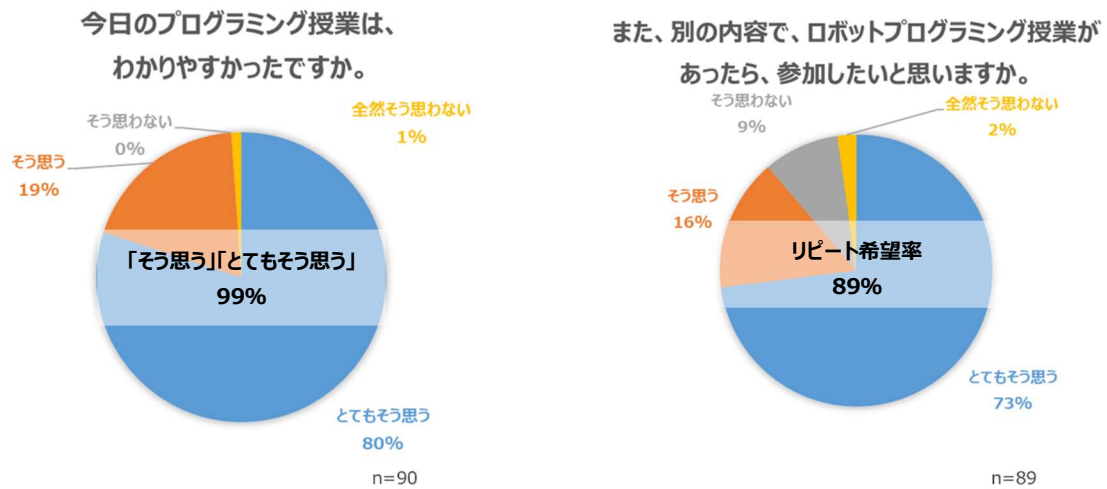
・2022 年度前期開催校（開催順）

	小/中学校	学校名	所在地	コマ数	受講者数
実施	14校			45	1,077
1	小学校	国立市立国立第八小学校	東京都	1	34
2		世田谷区立八幡小学校	東京都	2	58
3		横浜市立飯島小学校	神奈川県	3	90*
4		豊中市立豊南小学校	大阪府	1	34*
5		大田区立久原小学校	東京都	4	134*
6		岩国市立中洋小学校	山口県	1	28*
7	中学校	関西学院千里国際中等部	大阪府	3	58
8		開智未来中学校	埼玉県	10	260
9		武蔵野中学高等学校	東京都	1	28
10		秀明中学校	埼玉県	2	20
11		岐阜東中学校	岐阜県	4	72
12		目黒学院中学校	東京都	3	38
13		和洋国府台女子中学校	千葉県	7	191
14		鹿追町立瓜幕中学校	北海道	3	32*

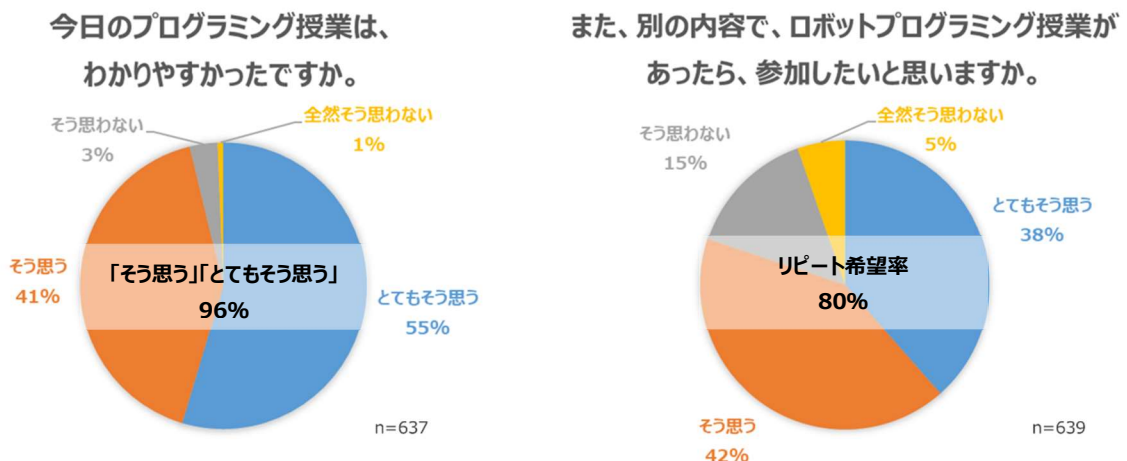
*は応募時の受講予定者数（集計時点で未確定）

・アンケート結果（2022 年 7 月 11 日実施分まで）

<小学生>



<中学生>



<教職員>

(小学校)

- ・45分があっという間に過ぎるくらい、子どもたちが夢中に取り組んでいました。
- ・グループ活動で紙にカードを置いてプログラムを考える方法は、苦手は子も参加できてよかったです。
- ・45分間という限られた時間で、お仕事内容やプログラミングについて、内容の濃い構成で、大変勉強になりました。

(中学校)

- ・プログラミングの流れや、使い道などキャリア教育面もあり、プログラムを考えさせ、実行するという流れがよく、かつ楽しめる内容だった。
- ・技術科として、PDCAサイクルについて入学時のガイダンスの中で教授しているので、(授業の中でも触れられていて) ありがたかったです。
- ・50分でプログラムの導入としてはとても完成されている。

今日のプログラミング授業は、 わかりやすかったですか。

